「シャロンの花」同窓会報第25号

２０２２年3月１日発行

＜２０２２年度総会・懇親会のお知らせ＞

日時５月１４日(土)総会　午後２時～(受付１時３０分～)
　　懇親会午後３時～(受付２時３０分～)
場所　三井ガーデンホテル千葉
　　千葉市中央区中央１丁目１１－１
　　TEL０４３-２２４-１１３１
会費　７，０００円(当日受付にてお支払いください。)

※本年は昭和５６年卒第３３回生の皆さんが幹事団を組んで取り組みますが、コロナ禍の為中止になる場合もあります。卒業生はどなたでも参加できます。ホームページで開催情報をご確認下さい。
(お問合せ・お申込みは、４月３０日までに同窓会事務局
　　（ＴＥＬ０４３－３０６－６９６０）

(三井ガーデンホテル千葉)

千葉県立千葉東高等学校同窓会報「シャロンの花」２５号です。
今後とも同窓生の皆様のご協力をお願いします。基金の振込にご協力をお願いします。
【ゆうちょの振替口座　００１６０-８-１４８９３２】

発行者　千葉県立千葉東高等学校同窓会 会長 山中 操
編集部　千葉県立千葉東高等学校同窓会 事務所 〒２６０-０８５５ 千葉市中央区市場町２－１５
　　渡辺ビル２０５

令和３年　同窓会　総会の開催

＜総会＞

令和３年１１月１８日に三井ガーデンホテル千葉にて総会・懇親会が行われました。今回は役員、学校関係者のみでの開催となりました。

内容につきましては、

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 名誉会長挨拶
4. 本年度転退職・新任の先生及び新年度幹事紹介
5. 出席教職員（卒業生の本校職員を含む）の紹介、
6. 議題

（1）第１号議案　令和２年度事業報告
（2）第２号議案　令和２年度決算報告・監査報告
（3）第３号議案　令和３年度事業計画（案）
（4）第４号議案　令和３年度事業予算（案）

7. 閉会の辞

＜令和２年度事業報告＞

1. 令和２年度の総会・懇親会は中止。
   各理事に文書にて承認をもらった。
2. 同窓会報「シャロンの花」発行は中止。
3. 「シャロンの花奨学金」の贈呈。

＜令和３年度事業計画＞

1. 総会 令和３年１１月１８日（土）
   三井ガーデンホテル千葉
2. 同窓会報発行・令和４年３月１日
   「シャロンの花」　第２５号発行
3. 同窓会・恩師対外発表会等参加支援・顕彰活動
4. 同窓会維持基金、創立１００周年祈念９０周年記念　事業基金等募金活動
5. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
   （1）部活動（関東大会以上出場等）支援
   （2）対外　発表会等参観・支援
   （3）進路学習支援
   （4）海外研修引率者支援
   （5）卒業式、入学式、体育祭、東雲祭等行事参列・参観等
   （6）その他母校支援に該当する案件
   （7）「シャロンの花奨学金」
6. 支部発足支援活動
7. その他目的達成に必要な事業
8. 常任理事会（原則隔月第三土曜日開催）
   昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業計画案・予算案が審議されいずれも承認されました。

(2020/04/01～2021/03/31)　　令和2年度　同窓会本会計

令和2年度千葉東高等学校同窓会決算書
損　益　計　算　書

	科目	金額
収入	令和２年度卒業生入会金(356名)	1,252,450
	令和２年度同窓会維持基金	886,000
	令和２度同窓会周年基金	885,778
	総会・懇親会支払差額(収益分)	0
収入合計		3,024,228
支出	会議費	0
	通信費	0
	総会費	0
	外注工賃	0
	祝金	0
	奨学金	210,000
	花籠代(音楽部)	15,000
	卒業証書入	94,870
	懇親会運営費	150,000
	雑費	2,275
	支払手数料	
	支出合計	472,145
収支合計		2,552,083
その他収入	受取利息(預金1)	20
	受取利息(預金2)	19
	受取利息(預金3)	0
	その他収入　合　計	39
剰余金		2,552,122

資　産　管　理　表

資産の部

科目	期首(2020/04/01)	期末(2021/03/31)
現金	5,888	3,608
預金1(本会計)	4,628,389	7,332,786
預金2(周年事業基金)	4,595,445	4,595,445
預金3(基金繰入金会計)	2,148,996	2,148,996
預金4(懇親会)	1,104,099	954,104
合計	12,482,817	15,034,939

＜役員一覧＞

名誉会長	奥山　謙二	学校長

役職	氏名	卒業年
会長	山中　操	昭和44年
副会長	石田　定雄	昭和39年
	中村　千枝子	昭和44年
	澤田　繁信	昭和46年
	小川　輝男	昭和50年
書記	小塚　興作	昭和34年
	市原　俊介	平成5年
会計	林　一己	昭和41年
	別府　健治	昭和50年
会計監査	古茶　義男	昭和42年
	石橋　康郎	昭和52年
事務局長	鈴木　英一	昭和46年
常任理事	戸塚　主税	昭和36年
	時田　拡央	昭和38年
	山田　和雄	昭和46年
	小林　丈士	昭和47年
	渡邊　茂通	昭和47年
	高橋　清英	昭和50年
	上市　善章	昭和54年
	桃木　みず江	昭和51年
	望月　あけみ	昭和51年
	大木　正人	昭和51年
	原　慈妙子	平成22年
	大木　正人	昭和51年
	後藤　孝徳	平成2年
	斉藤　武	昭和39年
	大木　実	昭和53年
名誉顧問	永江　栄	昭和21年
	井戸川　浩	昭和34年
	石橋　康郎	昭和52年

令和３年　懇親会

＜令和３年懇親会＞

令和３年の総会・懇親会はコロナ禍ということもあり、最初は５月に予定していましたが、どんどん遅くなって１１月１３日にやっと開催することができました。

例年では６０才になる卒業生を幹事学年にして懇親会に集まってもらっていたのですが、今回は卒業生の懇親会は延期ということになりました。
昨年に続き２年連続で延期になりました。
本来ならば今回は昭和５５年卒が幹事学年ですが、その前の年の昭和５４年卒の人も懇親会をやっていないので襷の引継ぎができていませんでした。

そこで、昭和５４年卒の飯田正夫幹事長、昭和５５年卒の松島隆一幹事長、昭和５６年卒の若菜寧幹事長に来てもらって襷の引継ぎをしてもらいました。

来年こそは卒業生を迎えての総会・懇親会を開催したいと思っています。

昭和５４年卒や昭和５５年卒の人達もコロナ禍が落ち着いたら同窓会の懇親会を実施したいと言ってますので対象の学年の卒業生の皆様は楽しみにしておいてください。

（千葉テレビの朝の情報番組で千葉東高校８０周年の様子が放送されました。）

（乾杯）

（千葉テレビ）

（襷の引継ぎ）

（幹事長）

同窓会会長　山中　操

創立８０周年記念事業式典が令和３年１１月５日（金）午後より挙行することが出来ました。

当日は、歴代校長　渡邉茂通先生、三上浩司先生、渡部徹先生にご臨席賜り誠にありがとうございます。

その中において、千葉県教育振興部長　浅尾智康先生によるビデオメッセージ、ＰＴＡ髙石由里会長の挨拶そして、本校を代表されます奥山謙二校長の式辞、特に東高魂とは「文武両道」「教養の復興」を実現すべく力強いお話を賜ることができました。

同窓会としては、これを契機に１００周年に向かってさらなる努力をつみながら、邁進して参ります。

又、記念講演では、河合薫さん（本校昭和５９年卒業）から「半径３メートルで見つかる無限の可能性」をテーマにお話を頂き私自身感動の連続でした。

結びに創立８０周年記念事業式典がコロナ禍ではございましたが素晴らしい式典であったことをお伝えしたいと思います。

ご協力本当にありがとうございました。

（昭和４４年卒　同窓会会長　山中操）

同窓会名誉会長　奥山　謙二(学校長)

千葉東高等学校同窓会の皆様におかれましては、日ごろから本校の教育活動に対し多大なるご理解、ご協力を賜りまして、心からお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、約二年間という長い年月にわたり不安で不自由な思いをしておりますが、本校におきましても思うような教育活動が展開できない悔しさや無念さがあります。その中でも、生徒は自分の目標に向け、しっかりとした信念を持ちながら頑張っております。特に、昨年度卒業した生徒は、３学年次には２か月間の休校から始まりましたが、大学の合格実績はすばらしいものでした。一方、在校生の活動につきましては、コロナ禍ということもあり制限されておりますが、その中でも今年度は、全国高校総合体育大会で山岳部女子が１６年ぶり２度目の優勝を果たしました。また、山岳部男子、水泳部女子、陸上部女子もそれぞれ関東大会に出場しました。文科系の部活動におきましても、化学部が全国高等学校総合文化祭に県代表で出場し、すでに来年度の同大会にも、化学部と文学部の生徒が出場を決めております。また、昨年末には、吹奏楽部がクラリネット四重奏で、県大会で金賞を獲得して東関東大会に進みました。

さて、昨年の１１月５日のことになりますが、創立８０周年記念式典及び記念講演が無事、終了しました。年度当初は、新型コロナの関係で式典が開催できるか不安でしたが、当日は生徒会の生徒が主体となって運営し、見事成功裏に終えることができました。主体的に生徒が活動することにつきましては、長い歴史と伝統の中で先輩方が築かれた『東高魂』を如実に表しております。

同窓会の皆様のご支援により始まりました「シャロンの花」奨学金制度についてですが、今年度につきましても、高い志を持ちつつも様々な理由で進学に不自由を感じている３年次生の支援のために有効に活用させていただきました。重ねて深く感謝申し上げます。

在校生は、千葉県教育委員会指定「進学指導重点校」の生徒として勉学に励む一方、各学年職員につきましても進路指導部としっかり連携をとりながら生徒の指導に当たり、生徒の多数が国公立大学や難関私立大学への進学を希望しております。また、部活動や学校行事、様々な課外活動につきましても職員の丁寧な指導のもと意欲的に取り組んでおります。

諸先輩方が長年にわたり築き上げた、勉学や部活動等、何事にも一生懸命に全力で取り組む『東高魂』はしっかり引き継がれており、校長として誇らしい学校であると切に思っております。次年度以降も母校に対するますますのご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、同窓会のますますのご発展と新型コロナの終息を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

千葉県立千葉東高等学校８０周年記念式典

＜８０周年記念式典＞

令和３年１１月５日（金曜日）午後１時２０分より、学校の体育館で、千葉県立千葉東高等学校創立８０周年記念事業、記念式典及び記念講演が実施されました。
２年生と３年生が体育館に集まり、１年生は教室でライブ視聴で参加という形になりました。

式は吹奏楽部式典序曲の演奏で始まり、高石由里副委員長の開会の言葉があり、続いて、国家斉唱、

奥山謙二校長式辞、山中操実行委員長挨拶、来賓から浅尾智康千葉県教育庁教育振興部長（東高校卒業生）の挨拶が映像でありました。

続いて、歴代校長、第２２代　渡邊茂通校長、第２３代　三上浩司校長、第２４代　渡部徹校長の紹介がありました。

山中操実行委員長に同窓会での長年の活動について感謝状が贈呈されました。
次に生徒会長　井上翔太君の生徒代表挨拶があり、

続いて校歌斉唱（ピアノ伴奏　山田千奈美教諭）がありました。

高石由里副委員長の閉会のことばで記念式典は終了しました。

千葉県立千葉東高等学校８０周年記念講演

＜８０周年記講演＞
『演題「半径３メートルで見つかる無限の可能性」』

講演者 河合薫
（昭和５９年卒業）
※千葉大学卒業後ＡＮＡにて国際線客室乗務員勤務、ＡＮＡ退職後、気象予報士の資格（第一期）を取得し、「ニュースステーション」の初代お天気お姉さんとして出演、番組降板後、東京大学で健康社会学の博士号を取得し、東京大学等で講師歴任　現在、テレビのコメンテーターや講演、執筆活動を行っている。

＜講演内容＞

人は何のために生まれてきたのか？→幸せになるため。何のために働くのか？→幸せになるために働く。やりたいことは変わっていきます。目の前のことに完全燃焼することが大事です。人生は螺旋階段のようなものです。ちょっとづつ、ちょっとづつ、上がっていきます。

ＡＮＡでは日本航空に追いつけ追い越せと頑張りました。国際線の採用の２期目。最初、仕事はただの肉体労働でした、しかし、だんだんと仕事はおもしろいと思えるようになりました。ＡＮＡにいた４年間で、完全燃焼することができました。最初は４路線、退職する頃には２６路線になりました。ＡＮＡが急成長をしていた時代です。

次に、自分の能力を発揮したい、自分のことばで伝える仕事をしたいという思いがありました。新聞で日本で最初に実施される気象予報士のことを知り、気象予報士に興味を持ちました。アメリカにいた頃、アラバマでは気象予報士はあこがれの職業でした。ウェザーニュースに就職して、気象予報士の資格をとり、ニュースステーションで初代のお天気キャスターになりました。

大切なのは自分のゴールを決めないこと。目の前のことに完全燃焼しているうちにもっと追及してみたいと思うことが出てきます。その時はまよわず道草をしてみる。自分の目の前のことをコツコツとやっていくうちに必ず見てくれる人がいます。やってよかったと出会える瞬間があります。ストレスを乗り越えて次の傘が出てきます。

ストレスは悪者ですか？
ストレスは人生の雨。人生のストレスに対抗するには傘を差せばいい。半径３ｍにたくさんの傘を見つけることが大切です。ずっと雨が降っていることはありません。晴れる日が必ずやってきます。ストレスは成長に大切です。それは成長する糧にもなります。

大切なのは傘を貸してもらえる人を作ること。たった一人でもいいです。世の中で、ひとりで生きている人はいません。自立できる人間とは、依存先がたくさんある人です。傘を借りる勇気、傘を貸し出す勇気が大切です。雨に濡れている人がいたら傘を差しだす勇気を持つ。真の幸せとは人間の潜在能力が発揮された時だと思います。

人として接することを大切にしてください。大切なのはその人がどういう人かどうかです。正しい時に正しい行いをする。自分が雨に濡れている時は弱音をはいても傘を貸してくださいと言える勇気、まわりに雨に濡れている人がいる時は傘を差しだす勇気を持つこと。人を思う、人を愛することが大切です。

真の幸せとは人間の潜在能力が十分に発揮されている時です。人との接触を大切にしてください。40才以降になると人として評価されるようになります。また、挨拶を大切にしてください。挨拶は心の距離感を縮めます。人は大人になると挨拶をしなくなります。

人生の大切なことは幼稚園ですべて学んでいると思います。人にあったらこんにちは、おはようと言いましょう。悪いことをしたら、ごめんなさいと謝りましょう。正しいことをしてもらったらありがとうといいましょう。単純なことですが、大人になると挨拶ができなくなります。

無駄を大切にすること、目の前のことに完全燃焼する。自分さえ限界を設けなければ可能性は無限大に広がっていきます。高校3年間に大いに無駄を楽しんでください。ピカピカの七色の道を作る基礎になります。

最後に、生徒３名から質疑応答があり、花束贈呈で終了しました。

千葉県立千葉東高等学校８０周年記念誌の内容

＜８０周年記念誌の内容について＞

第一章　＜創立８０周年記念事業＞
校長式辞
同窓会会長祝辞、教育庁祝辞、
第２２代校長　渡邊茂通先生祝辞
第２３代校長　三上浩司先生祝辞
第２４代校長　渡部徹先生祝辞

第二章　＜各先生からの寄稿＞

「Ｗｉｔｈコロナ時代の修学旅行」 ３学年主任　小幡幸次郎先生
「感謝」 学年主任　石井豪先生
「東高校での１２年間と東高ラグビー部」 ２０１７年度第３学年主任　古田学先生
「年次新聞を読み返しながら」 平成２５年度第３学年主任　木村孝康先生
「東高の底力ーコロナ元年の高校３年生ー」 鵜澤拓雄先生
「最上級生のバトン」 平成２３年度第３学年主任　松本孝先生
「平成２６年度入学・平成２８年度卒業」 学年主任　小宮初喜先生
「千葉東高校に恋してる」 平成３０年度第３学年主任　岡本修一先生
「９クラスの壁」 水島治行先生
「あっ！という間の３年間」 平成２７年度第３学年主任岩上三津浩先生
「百人一首大会（過去１０年を振り返って」 中臺賢矢先生

第三章　＜学校の各部の紹介＞
教務部、管理部、進路指導部、総務部、
生徒指導部

第四章　＜学校の各委員会の紹介＞
生徒会活動、図書委員会、
生徒会誌編集委員、選挙管理委員会、
美化委員会、保険委員会、防災委員会、

第五章　＜部活動・同好会の紹介＞
演劇部、化学部、ラグビー部、
女子テニス部、囲碁同好会、陸上競技部、
女子バレーボール部、ＥＳＳ、
ＪＲＣ同好会、コンピューター部、
サッカー部、ジャグリング部、
ソフトボール部、ダンス同好会、
フォークソング同好会、マンドリン楽部、
音楽部、柔道部、剣道部、
写真部、書道部、植物手芸部、吹奏楽部、
水泳部、生物部、卓球部、
男子テニス部、男子バレーボール部、
男女バスケットボール部、
地学部、美術部、物理部、
漫画研究同窓会、野球部、
歴史研究同窓会、山岳部

第六章　ＰＴＡ活動、ＰＴＡ会則、同窓会活動

※８０周年記念誌の発行は２０２２年３月を予定しています。同窓会のホームページに過去の記念誌を含めて掲載する予定です。

創立80周年、発展誓う
千葉東高で記念式典

千葉市稲毛区の県立千葉東高校（奥山謙二校長、生徒957人）で、創立80周年記念式典が開かれた。生徒は、歴代校長ら関係者とともに県内有数の進学校の節目を祝い、さらなる発展を誓った。

同校は、1941年に千葉市立千葉高等女学校として開校。50年に県へ移管され、共学の県立千葉第三高校となった後、61年に現在の校名になった。

式典で、奥山校長は「勉強、部活動、学校行事に全力で取り組む〝東高魂〟を忘れることなく、将来の目標に向けて頑張ってほしい」と激励。創立80周年記念事業実行委員会の山中操委員長は「母校に誇りを持ち、社会でより高く羽ばたき、活躍を」と鼓舞した＝写真。

記念講演には、同校卒業生で、気象予報士や大学講師として活躍する河合薫さんが登壇。「半径3㍍で見つかる『無限の可能性』」をテーマに語った。

創立80周年記念式典

（千葉日報記事）

祝！山岳部女子インターハイ優勝　～その強さの秘密に迫る～

８月２０～２３日に福井県で行われた全国総体登山大会において、山岳部女子が１６年ぶり２度目の優勝を果たしました。

東高は長年にわたり登山競技の強豪校として名を馳せています。しかし上位は僅差の争いになることが多く、優勝するためには周到な準備は当然のこと、運すらも必要になってきます。

昨年は大会自体が中止になったことで、今年は全国ほぼすべての選手が初出場となる大会でした。例年と比べて登山行動が３日から２日に短縮され、炊事やテント泊、他校との交流も無くなるなど、選手たちにとって精神的負荷の大きい大会でした。そんな中でも、ほとんどミスのない１００点満点中９９．７点の高得点で優勝したことは快挙です。

ところで、千葉県は最高標高でも愛宕山の４０８ｍと、平均標高が日本一低い県となっているのをご存じですか。そんな千葉県でも強さを維持している裏には、どんな秘密があるのでしょうか。

登山競技は４人組で行われ、登山に必要な知識、技術、体力など多岐にわたる項目を減点方式で審査されます。大会でペーパーテストを課されるような、アカデミックな運動部なのです。気象通報をもとに天気図を作成して天気予報をするほか、登山用語、救急知識、そして大会山域の自然知識に関するテストもあります。そこは知力も備えた東高生！知識審査で他校に点差をつけました。

そのほか、登山に必要な情報をまとめた「計画書」の作成など、たくさんの準備が必要です。選手が大会に集中するためには、他の部員のサポートが欠かせません。部活全体で一つになって戦えることも東高の大きな強みです。

大会では、登山をしながら現在地を把握して地図に記入したり、テントを制限時間内に正しく設営するなど、高い技術も求められます。ここでの満点獲得を支えたのが、「先輩が後輩へ指導する文化」です。顧問の先生の熱心なご指導に加え、大学生ＯＢが来校あるいは現地下見に同行し、後輩たちのサポートをしています。そうして磨かれ蓄積されたノウハウが、東高の大きな武器となっています。

そして、登山に欠かせない体力については、女子でも１５ｋｇ弱の重荷を背負って階段を上り下りするという伝統の練習メニュー、「ザック練」で培われています。選手だった生徒の一人は、「４階までを６０往復したことがいままでの人生で一番きつく、精神が強くなりました」と話してくれました。文武両道に秀でた東高生が伝統を大切に受け継いでいることこそが、東高山岳部の強さの秘密なのです。

重いザックのみならず、過去に悔し涙を流したＯＢの想いも背負って全国優勝を手に入れた選手たちと、ご指導された顧問の先生方、そして選手を支えた部員全員に、心から拍手を送ります。

東高山岳部は１９５０年頃に創部されたと思われ、７０年以上の歴史を持つ部活です。登山の記録などをまとめた部誌である「Ｃａｉｒｎ（ケルン：道標、積石という意味）」は１９５５年に創刊され、そこから毎年部員が作成し、今年で６７号になります。

また、各世代に分かれていたＯＢ会を顧問の先生のご協力のもと２０１７年に統合し、いまでは大学生から８０代までの会員がいる「千葉東高校山岳部ＯＢ・ＯＧ会」で現役生の支援をしています。

いまは宿泊を伴った登山が制限され、部活の生徒たちも我慢を強いられているときですが、一日も早く同じ釜の飯を食う登山活動が再開できることを願っています。

（平成２２年　原　慈妙子）

↑久しぶりの山行で嬉しそうな山岳部員たち

令和３年コロナ禍の学校の様子

【東雲祭】

７月１日、２日の２日間にわたり、文化祭「東雲祭」を行いました。昨年度は全て中止となりましたが、今年度は一般公開なしの校内発表のみの開催となりました。なかでも、本校の目玉でもある３年生の演劇は、コロナの影響で観客を入れての上演が出来ないため、映像上映による演劇発表を行いました。映像上映という初の試みでしたが、伝統を踏襲しつつも知恵と工夫、技術とセンス、そして何よりもクラスの団結力、集中力、爆発力でどれも素晴らしい演劇を作り上げました。１・２年生も制限があるなかで、創意工夫を凝らしたアトラクションや出し物で、楽しませてくれました。今年度の東雲祭は、今まで培ってきた良き伝統を引き継ぐとともに、そこに新しい生活様式での新たな創造がプラスされた新しい東雲祭となって帰ってきました。

【千葉大学教育学部基礎教養講座】

本講座は、千葉大学教育学部の先生を招き、大学の授業を体験するものです。昨年度は、コロナの影響で全講座が中止になってしまいましたが、今年度は感染防止対策を徹底した上で講座を開講することが出来ました。９名の生徒が、全１４回の講座に参加し、様々な分野の大学教授の講義を熱心に受けていました。最終日の講座では、「マスクについて知ろう」ということで、昨今生活の必需品となったマスクについて講義をしていただきました。

【修学旅行】

昨年度、修学旅行を実施した公立高校は、１２校しかありませんでした。千葉東高校は、そのうちの１校であり、昨年度のコロナ禍で実施した経験を生かし、今年度においても１１月２４日(水)より２７日(土)まで、京都奈良を中心とした関西修学旅行を実施いたしました。出発前に感染者が出れば、中止することもあるので、実施２週間ぐらい前からはどこかピリピリした状態が先生方にも生徒たちにも感じられました。出発してからも、感染防止対策を継続し、検温・マスク着用・手指消毒・黙食などは当たり前、また密を避けることからクラス別行動では１クラスをバス２台に分け、間隔を置いて座り、話すことさえも出来ない状態でした。そのような様々な制限がある中でも、生徒たちはやるべきことをしっかりと行い、修学旅行の目的も十分に果たし、そしてなによりも良き思い出を作るべく楽しんでいる姿をたくさん見かけました。京都市役所前にある本能寺ホテル(横には本能寺)に３連泊し、２日目、３日目はホテルから出発、各班ごとに自分たちで計画した場所で班別研修を行い、ホテルに戻ってきました。特に、３日目は着付けをし、慣れない着物姿で四苦八苦するも楽しそうに出かけて行きました。この４日間、一人も離脱することなく、無事に修学旅行を終わらせることが出来、ホッとしております。

【その他】

令和３年度は、緊急事態宣言やまん延防止措置の期間がとても長かったですが、それにもかかわらず当初予定していた学校行事を概ね実施することが出来ました。スポレクや校外学習、陸上競技大会、千葉大学との連携事業ＨＯＣ、保護者対象の進路ガイダンスなど感染防止対策を徹底した上で実施しました。また、動画配信やライブ配信等の新しい試みにも挑戦して行った行事もあり、新たな時代に向かう千葉東高校でもありました。

（Ｓ58卒 教頭 奥田　雅之）

対談　柏原ゆきよさん（日本健康食育協会代表理事）

市原：本日は管理栄養士、一般社団法人日本健康食育協会代表理事、他複数の役職で大変ご多忙にもかかわらず、同窓会報「シャロンの花」に掲載する対談にお時間を割いて頂き有難うございます。最初に、簡単な自己紹介をお願い致します。

柏原：私は平成４年に千葉東高校を卒業、共立女子大学家政学部食物学科管理栄養士専攻に進み、33歳で起業独立、今では「お米先生」として食から健康課題の解決のための活動に注力しています。

市原：東高在校中はどんな感じでしたか？

柏原：部活は一年生の吹奏楽部のみでした。とにかくやりたいことがなく、成績も振るわず進級が危ぶまれたこともありました。

市原：家政学部食物学科に進んだきっかけは？

柏原：元々建築に興味があったけど、成績が振るわず文系クラスに入り、やりたいことが分からないまま何となく受験をしました。合格通知を見て家政学部というのにびっくりしたくらいです。

市原：その進学が今の原点になったわけですね。

柏原：それでも20代の頃は幾つか転々としていました。食と健康に興味があり就活しましたが、当時「健康」のための仕事をする会社はまだなかったのです。食品流通、食品加工、飲食、フィットネス、美容、医療、介護、サプリメントや機能性食品開発などさまざまな分野を経験しました。

市原：33歳で起業独立したのは、どのようなきっかけでしょうか？

柏原：ベンチャー企業の役員で営業コミットを達成し、区切りがついたタイミングで事業継承の提案を頂きました。迷っていたところ、周りから後押ししてもらったことが大きいですね。20代の頃に色々頑張っている姿を見てくれた人たちが、応援してくれたのです。

市原：Webサイトにもある、その２年前の中３の女の子との出会いが、大きな転機のようで。

柏原：仕事でご縁のあった経営者の方からお嬢さんの摂食障害についての相談を受けました。一時入院する程の深刻な状態でした。試行錯誤しながら食べることの考え方や食べ方を伝え、学校にも行けるようになりました。この経験で、健康に関する情報が氾濫し、健康を害する人が多い環境を変えたいと強く思いました。糖質制限などが流行り、お米が悪者にされていることの問題を訴え続け、支持されるようになりました。

市原：成功の鍵は何だと思いますか？

柏原：一度決めたことはコツコツと前向きにやり、達成してきたことを評価して頂いたと思います。そして、人にも恵まれました。すぐにやりたいことが見つからなくても、誰かの役に立つことをやり続けていると、チャンスが巡ってくるんだと思います。「世のため人のためと仕事をしていたら、一番助けられたのは自分だった」と。

市原：それは素晴らしい教訓ですね。

柏原：世の中は「食べたら太る」「健康のために制限する」思想が多く、食べることに対するネガティブな情報が溢れています。しっかり食べることの大切さを伝えないと、老後の介護が増えます。食を制限することで、あらゆる病気の原因になります。そんな現状を変えるための世直し運動をしています。特に米は唯一日本で自給できるものとして大切にすべきですが、消費が激減しており、米の消費拡大は国の命題でもあります。私は、お米の教育活動を通じ、日本の未来に貢献しようと思っております。また高校時代など若い頃は、体の土台をつくる時期として重要なので、「食べてもきれいにやせられるよ」と呼び掛けたいですね。

市原：ご家族などにロールモデルとなった方はいらっしゃるのでしょうか？

柏原：104歳まで元気に生きた祖父です。よく食べて何事にも好奇心がありました。

市原：最後に、同窓生や在校生へのメッセージをお願い致します。

柏原：人生には辛く苦しいこともあるけど、乗り越えた先に違った世界がある。諦めずにやり続ければ必ず誰かが見ていてくれる。自分を大事にして、頑張り過ぎないこと。座右の銘はアントニオ猪木さんの「元気があれば何でもできる」です。

市原：どうも有難うございました。

（平成５年卒　同窓会書記　市原俊介）

公式サイト　https://shokuiku-imagine.com/
YouTube 「お米先生」柏原ゆきよチャンネル

進路指導について

千葉東高校 令和2年度卒業生進路概況

進路指導部

(1) 概況(実数)

卒業年度	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
卒業生徒数	365	365	356	359	358
進学	280	255	273	273	290
就職		1		2	0
家事家業					
その他	85	109	83	84	68
現役進学率(%)	77	70	77	76	81
文系(%)	81	75	80	84	89
理系(%)	72	65	73	69	74

令和2年度進学内訳	
国公立大	120
私立大	167
準大学	
短大	
専門各種	3

(2) 合格者延数

卒業年度	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2 ①	既卒 ②	①+②
国公立大学	106	109	112	108	132	24	156
私立大学	930	677	768	864	1009	307	1316
準大学	3	5	3	1	5	1	6
国公立短大その他			2			1	1
私立短大		2	1	1			0
専門各種	2	1		2	7	1	8

(3) 大学別現役生合格状況(抜粋)

卒業年度	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2 ①	既卒 ②	①+②
東京大	1	1	2	1	3	2	5
京都大			1		2	1	3
北海道大	2	4	5	1	3		3
東北大	5	2	10	6	9	1	10
名古屋大	2	1	1		1		1
大阪大		2					0
九州大	1		1				
東京工業大	4	3	3	2	4		4
一橋大	4		3	2	6	1	7
神戸大	1					1	1
難関国立10大計	20	13	26	12	28	6	34
千葉大	48	45	43	56	67	8	75
筑波大	10	6	5	9	6		6
東京外国語大	3	1	2	4	3		3
お茶の水女子大	1	2	1	2	1	1	2
国公立大合計	106	109	112	108	132	24	156
早稲田大	54	33	26	20	53	24	77
慶応大	17	6	18	13	28	15	43
上智大	35	16	16	29	35	3	38
東京理大	65	37	51	43	67	25	92
難関私立大計	171	92	111	105	183	67	250
国際基督教大	2		1	2	1		1
明治大	90	68	65	70	97	27	124
青山学院大	29	13	23	24	25	5	30
立教大	59	58	44	58	63	8	71
中央大	26	24	26	34	61	8	69
法政大	91	53	71	58	65	28	93
ICU & MARCH 計	297	216	230	246	312	76	388

(4) 医学部医学科の合格状況

種別	合格延べ人数			詳細	
	現役	既卒	計	現役	既卒
国公立大	2	2	4	千葉大、金沢大	千葉大、金沢大
防衛医大		1	1		防衛医科大学校
私立大	1	8	9	国際医療福祉大	国際医療福祉大、独協医科大 順天堂大、東京医科大 東邦大、日本医科大、関西医科大
計	3	11	14		

野球部ＯＢ会 令和３年度

野球部ＯＢ会　令和３年度報告

〇新年会

コロナ禍のため中止となりました。

〇総会

今年度の総会も「コロナ禍」の影響で中止になってしまいました。

文書による連絡で昨年度の事業・会計決算、今年度の事業案・予算案を承認していただきました。

〇第３９回　親善ゴルフ大会　本校からは佐々木亮一君（Ｈ４卒）・高橋克弘君（Ｈ５卒）・池田哲也（Ｈ５卒）元監督・濱井清之先生の４人の合計成績で２２チーム中１８位の成績でした。

〇第４２回千葉県高校野球ＯＢ野球大会

今年度のＯＢ野球大会は８月１５日（日）に予定されていた市立銚子高校との対戦が雨天順延となり、　９月２６日（日）に成東高校野球場で行われました。

当日は若い世代が仕事等の都合でなかなか集まりませんでしたが、１６人が参加して試合開始となりました。

１回表、先頭の鵜澤君（Ｈ２９卒）の三塁打からの５連打でさい先良く２点を先制しましたが、その裏同点とされ、その後も守備のミスから２点・６点・２点と加点され、残念ながら大会規定により２－１２×の７回コールド負けとなってしまいました。

来年度の大会にも多くの方が参加して下さることをお願いいたします。

〇１１月に入り、「コロナウィルス」の感染者数が日増しに増える状況になってきました。

予定されていた今年度の「行事」もほとんどが中止になってしまいました。

これまで長い期間にわたって、ＯＢ会の活動にご理解とご支援をいただき、会費を納入して下さった方に野球大会で使用している「帽子」を贈呈させて頂きました。

感謝申し上げます。今後ともご支援を賜りますようお願い致しますとともに、さらに多くのＯＢの方からのご支援をいただければと思います。

〇年末を迎えて「喪中」のハガキが届くようになってきました。

昭和２８年度卒業、野球部の創部にご尽力をいただき、ＯＢ大会でも「投手」として長年、活躍して下さった渡邉　彊先輩が８５才で永眠されました。

ご冥福を心からお祈り致します。

会員の皆様をはじめ、同窓生の皆様のご健康とご多幸、そして益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

※文中の「（　）内」は卒業年度。

（文責：昭和５１年卒・高橋敏行）

ご案内

＜同窓会からのお知らせ＞

・基金の支払の方法について【ゆうちょの振替口座　００１６０-８-１４８９３２】

コンビニで支払いができる振込用紙をセットしました。金額は固定（４，０００円）になりますが、郵便局でもコンビニでも同窓会への寄付金の支払いができます。同窓会の維持の為に皆様のご協力をよろしくお願いします。固定金額以外は、郵貯の振込用紙に記入して振込をお願いします。

（同窓会活動維持基金　１口２，０００円　創立１００周年祈念９０周年記念事業基金１口　２，０００円）

＜編集後記＞

コロナ禍の為、昨年度の総会・懇親会は中止になりました。今年度はなんとか理事のみで開催することができました。学校関係の行事等も中止になったものが多かったようです。同窓会の理事会もほとんど開くことができませんでした。そんな中でも創立８０周年記念式典だけは無事に開催することができたことに安堵しています。（※今年の総会・懇親会も中止になる場合もあります。）　（編集委員）